

あずまや・さんらく

芸豪烈伝その9 四代目・東家三楽

## いまの浪曲はお笑いが足りない

写真・森 幸一 文・おさだ衛

大胆にして細心。

客席をわかすサービスピ精神、全身全霊をぶつける迫力ある舞台態度、外題の細かい吟味、客席の反応で随時いれるアドリブ。熱血、快汗、お笑い、三楽は浪曲の三冠王だ。

熱血。文字通り三楽の舞台のテンションは高い。客席中に響き渡る声で居

眠りをしている客はひとりもない。

「いま、ネタは46ですか。木馬亭では2年間は同じネタは演りません」

木馬亭で同じネタを繰り返す演者が少なくない現在、三楽師は貴重だ。ネタ数では現役最多かもしれない。

快汗。こぶしや扇子を自分の胸にたたきつけて、首を振り立て、マイクをもつて舞台の上手から下手と移動して浪曲をうなり躍動する姿は感動的だ。お笑い。「浪曲はね、お笑いがないと、いけないと思うね。」

私は14歳から浪曲の世界に入りましたね。昔は演者が客席に8人いたら3人は、笑いが多くて客を遊ばせる、肩がこらないネタでした。いろいろのバランスがとれていた。

いまは固い読み物が多すぎるね」なるほど。舞台のうえ同様、素の三楽師も一本気で筋が通っている。

「浪曲はわかりやすく、面白くないとね。古い外題でも現代のニュースなんかを織り込めば十分に通用します」そして、浪曲の魅力を、

「芝居、講談、落語や民謡なんかの要素が入っている娯楽なんだね」

芸人といえば三楽。飲む打つ買うの三拍子そろって見える三楽師だが、「酒は体質的にダメ。タバコもノドを大切にしたいから15年前にやめたよ」打つと買う方はどうでしたか。

「若い頃はバクチと女に全部つきこんだね。使わず貯めておけば、楽に家の



あずまや・さんらく。本名・前原正八。栃木県下都賀郡うまれ。日本浪曲協会副会長。趣味は落語鑑賞。佐渡に芸能社があり地域の浪曲普及に努めている。「いまの時代、浪曲で説教じみたことは、はやらないよ」。義士伝からケレン読みとレパトリーの広さは業界いち。



東家たつ子は元・数島大藏嬢として「義士伝でも、なんでも読みました」。木馬亭の楽屋で、舞台の打合せに没頭。「かあちゃん、こうするから頼むね」

5、6軒は買えたらうな。  
バクチはやめて、いまはパチンコだけ」  
女性はどうでした。

「女はもてすぎたの。私は26歳から人に使われたことがなく、自分の一座を組んでました。地方にいつて客席に水商売の女性がいると、そういう関係者の喜ぶようなネタを演るの。そうすると舞台が終わると私の楽屋にやつてきて、それからね……」

女にもてるネタ？ 泣かせるものだね。不良少年や情話もの、父をたずねる話、「芝浜の革財布」も評判が良かった」

その時期は師匠が三十代の頃で、「いまの若い者には想像のつかない、もてかただった。浪曲の全盛期だった

んだね」

その全盛を過ぎた浪曲だが三楽師は寄席を作つて、浪曲ファンを育てている。

「下落合の『竜の湯』という健康ランドで『竜の湯寄席』という浪曲の寄席を月に1回おこなっています。この7月で3年になるんです」

演者と客の間隔を狭くつて演者の息づかいが感じられるアットホームな寄席だ。詳しくは15ページを。

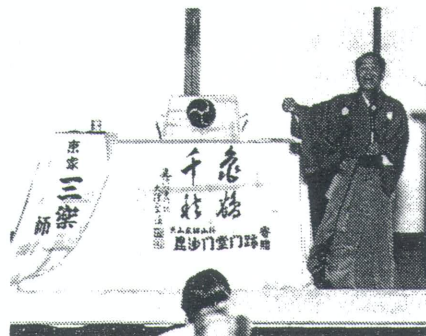
さて浪曲といえはコレだという付き物がある。たとえは、ビールといえは枝豆、ポインといえは朝丘雪路(古い)というような。浪曲には、そうです、もちろん三味線だ。

「十年後、二十年後の浪曲の課題は三味線です。いまの、浪曲協会主催の三味線の生徒がどれだけ、がんばれるかだね」

三楽師の合三味線は、ごぞんじ奥さんの東家たつ子。実はこの取材にも同席している。ご亭主の、モチ話を聞いてどうですか。

「女に好かれなない芸人は失格ですからもてていいんです。わたしは黙っているんです。やきもちも焼きません。主人は気は短いけれど申し分のない人ですよ」

お二人はともに再婚で40歳を過ぎて結ばれた。たつ子師匠は体調を崩すことが多くなっているが、三楽師は取材



舞台上の活発な動きや豪快な節まわしに客席は酔う。「外題にチャリ(おふざけ)を入れるのはフザケてんじゃなくて、客の肩をほぐそうとしてんの」

中もさりげなくだが愛情あふれるしぐさで、たつ子師匠を気づかっていた。  
「芸人のカミさんは一般に所帯もちがわるいの。店屋物をとったり家の中が乱雑だったり。その点、この人はしつかりしていて私は舞台上に専念できています。それと女房だから三味線としてギヤラをださなくていい。これも長い年月ありがたいことだね」

三楽師の信条は「だれでも好きになれる。そうすれば相手も好いてくれるようになる」

なるほど、勉強になるなあ。  
さて、60年の浪曲キャリアを誇る三楽師に最後の質問です。来世で生まれ変わったら、また浪曲師になりますか。  
「いや、次は競艇の選手だな。オレは背も小さいし」

今回は芸の厳しさと夫婦のむつまじさを教えていただきました。

浪曲…これほどすばらしい芸は他にはないと思ひます。

9/52

浪曲家の皆さん…頑張つて下さい。  
多くのファンを楽しませて下さい。

葛飾区・坂本豊吉